



# 平成30年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月5日

上場会社名 アース製薬株式会社  
 コード番号 4985 URL <https://corp.earth.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川端 克宜

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 上席執行役員 経営統括部統括部長 (氏名) 三枚堂 正悟

TEL 03-5207-7458

四半期報告書提出予定日 平成30年11月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年12月期第3四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	145,608	0.3	5,951	44.0	6,250	43.1	3,122	53.1
29年12月期第3四半期	145,984	6.3	10,619	15.3	10,986	12.3	6,662	14.7

(注)包括利益 30年12月期第3四半期 3,005百万円 (60.5%) 29年12月期第3四半期 7,617百万円 (4.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第3四半期	154.54	
29年12月期第3四半期	329.90	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第3四半期	121,662	51,063	37.3
29年12月期	118,167	50,529	38.0

(参考)自己資本 30年12月期第3四半期 45,339百万円 29年12月期 44,940百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期		0.00		115.00	115.00
30年12月期		0.00			
30年12月期(予想)				115.00	115.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	182,500	1.5	1,400	68.6	2,000	59.9	150	93.2	7.42

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年12月期3Q	20,220,000 株	29年12月期	20,200,000 株
期末自己株式数	30年12月期3Q	4,734 株	29年12月期	4,618 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年12月期3Q	20,207,339 株	29年12月期3Q	20,195,511 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.4「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間において、国内景気は、個人消費の持ち直しや企業収益の改善などを背景に、緩やかに回復しましたが、地震や豪雨など相次ぐ自然災害が及ぼす影響に留意が必要な状況です。また、当社グループが展開に注力するアジア地域では、タイ・ベトナム・中国がそれぞれ着実な経済成長を続けておりますが、アメリカ・中国間での貿易摩擦の影響など、景気の先行きには不透明感が漂う状況であります。

このような経済状況のなか、当社グループは経営理念「生命と暮らしに寄り添い、地球との共生を実現する。」のもと「お客様目線による市場創造」を重視しており、現在進行中の中期経営計画では『海外展開の強化』『グループシナジーの最大化』『収益力の向上』に加え、従来からの取り組みを発展・強化することをテーマに掲げ、中期経営目標“2020年連結売上高2,000億円、連結経常利益150億円の達成”に向けて、成長力と収益性の双方を高める経営を進めています。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績については、昨年子会社化したEarth Corporation Vietnam(旧 A My Gia Joint Stock Company、前期の損益は第3四半期連結会計期間より計上)の連結寄与はあったものの、国内における市場の低調な推移により虫ケア用品が前年を下回った影響で、売上高は1,456億8百万円(前年同期比 0.3%減、計画比 93.9%)となりました。また、利益については、物流コストの高騰、Earth Corporation Vietnamの買収に伴うのれん等の償却費の発生など計画時点で見込んでいた費用の増加に加え、虫ケア用品の減収に伴う売上総利益への影響や広告宣伝費・販売促進費の増加などにより、営業利益59億51百万円(前年同期比 44.0%減、計画比 56.3%)、経常利益62億50百万円(前年同期比 43.1%減、計画比 57.1%)、親会社株主に帰属する四半期純利益31億22百万円(前年同期比 53.1%減、計画比 47.1%)となりました。

なお、当社グループは虫ケア用品の売上構成比が高く、売上高が3月～7月に偏るといった季節性がある一方、人件費等の固定費は年間を通じてほぼ均等に発生するため、四半期毎の売上高や利益には相応の影響があります。

(連結業績)

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間 (実績)	当第3四半期 連結累計期間 (計画)	当第3四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比	計画比
売上高	145,984	155,044	145,608	△0.3%	93.9%
営業利益	10,619	10,570	5,951	△44.0%	56.3%
経常利益	10,986	10,940	6,250	△43.1%	57.1%
親会社株主帰属四半期純利益	6,662	6,623	3,122	△53.1%	47.1%

セグメントの業績の概要は次のとおりであります。

## [家庭用品事業]

家庭用品事業におきましては、新製品の発売、各種プロモーション施策の実施などにより国内市場の活性化に努めるとともに、収益力の向上に向けて返品削減に関する取り組みを実施しております。また、海外ではタイ・ベトナム・中国を中心に経営資源を積極的かつ有効に投入することで、展開を拡大する取り組みを実施しております。

当第3四半期連結累計期間における当事業の業績については、日用品が順調に売上を伸ばしたものの、国内の虫ケア用品が天候の影響もあり低調に推移したことで、売上高は1,344億38百万円(前年同期比 0.4%減)となりました。また、売上総利益の減少に加え、マーケティング費用や物流費を中心に販管費が増加したことが影響し、セグメント利益(営業利益)は48億2百万円(前年同期比 50.6%減)となりました。

## (家庭用品事業の業績)

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率
虫ケア用品部門	60,038	56,702	△3,336	△5.6%
日用品部門	68,481	71,370	2,888	4.2%
口腔衛生用品	29,292	29,886	594	2.0%
入浴剤	14,790	14,855	64	0.4%
その他日用品	24,398	26,628	2,229	9.1%
ペット用品・その他部門	6,473	6,364	△108	△1.7%
売上高合計	134,993	134,438	△555	△0.4%
セグメント利益(営業利益)	9,725	4,802	△4,922	△50.6%

(注) 売上高にはセグメント間及びセグメント内の内部売上高又は振替高が含まれており、金額は前第3四半期連結累計期間では6,714百万円、当第3四半期連結累計期間では7,013百万円です。

部門別の主な状況は次のとおりであります。

虫ケア用品部門

虫ケア用品部門において、国内では、販売の最盛期となるゴールデンウィーク直後や7月に豪雨に見舞われ、また7月以降は記録的な酷暑となりました。こうした気象環境を背景に市場は低調に推移し、過去10年間で最低水準という極めて厳しい状況でありました。当社は国内市場で57.3%(自社調べ、前年同期比+0.3ポイント)のシェアを有しておりますが、市場低迷の影響を受け、国内での販売高は最大のカテゴリーであるハエ・蚊用やゴキブリ用を中心に前年を下回りました。

海外では、中国で順調に売上を伸ばしたものの、タイでの低調な推移により、前期に比べて微減となりました。

以上の結果、当部門の売上高は567億2百万円(前年同期比 5.6%減)となりました。

日用品部門

口腔衛生用品分野においては、洗口液『モンダミン』が売上を伸ばし、また知覚過敏予防ハミガキ『シュミテクト』が好調を維持したことなどにより、売上高は298億86百万円(前年同期比 2.0%増)となりました。

入浴剤分野においては、錠剤タイプの『温泡』がアイテムを追加したことも寄与し売上を伸ばした一方、粉末タイプの『バスクリン』・『バスロマン』が伸び悩んだことなどにより、売上高は148億55百万円(前年同期比 0.4%増)となりました。

その他日用品分野においては、昨年子会社化したEarth Corporation Vietnam(前期の売上高は、第3四半期連結会計期間より計上)の売上寄与に加え、消臭芳香剤『スッキーリ!』や、家庭用マスク『快適ガードプロ』、保冷剤『アイスノン』などが順調に推移したこと、またタイにおいて『スッキーリ!』やエアコン洗浄剤『エアコン洗浄スプレー』を新発売したことなどにより、売上高は266億28百万円(前年同期比 9.1%増)となりました。

以上の結果、当部門の売上高は713億70百万円(前年同期比 4.2%増)となりました。

ペット用品・その他部門

ペット用品分野においては、ペット用虫ケア用品やペットケア用品が前期並みの売上を維持した一方で、ペットフードやリード・胴輪などのアクセサリ用品の売上が伸び悩みました。また、その他分野の売上が微減となり、当部門の売上高は63億64百万円(前年同期比 1.7%減)となりました。

## 〔総合環境衛生事業〕

総合環境衛生事業におきましては、主要な顧客層である食品関連工場、医薬品・化粧品関連工場、包材関連工場にて原料やエネルギーコストの高騰に対応したコスト削減への動きが強まり、製造工程における効率化、工場の統廃合・集約化、海外への工場移転などが進みました。一方で、食品の異物混入問題から消費者の「安全・安心」に対する意識はさらに高まり、当事業が提供する高品質の衛生管理サービスへのニーズが高まる状況でありました。

このような状況のなか、人材の育成、業務効率の改善を目的としたソフトウェア投資など、お客様のニーズに速やかに対応できる社内体制を構築するとともに、技術開発力の強化により差別化された品質保証サービスを提供することで、契約の維持・拡大に努めました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当事業の売上高は182億74百万円(前年同期比 2.7%増)、セグメント利益(営業利益)は10億82百万円(前年同期比 4.9%減)となりました。

## (総合環境衛生事業の業績)

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	17,794	18,274	480	2.7%
セグメント利益(営業利益)	1,137	1,082	△55	△4.9%

(注) 売上高にはセグメント間の内部売上高又は振替高が含まれており、金額は前第3四半期連結累計期間では87百万円、当第3四半期連結累計期間では91百万円です。

## (2) 財政状態に関する説明

## (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間における総資産は、前連結会計年度末に比べて34億95百万円増加し、1,216億62百万円となりました。これは主に、売上債権及びたな卸資産の増加によるものです。

当第3四半期連結会計期間における負債は、前連結会計年度末に比べて29億60百万円増加し、705億99百万円となりました。これは主に、仕入債務、賞与引当金、返品調整引当金の増加によるものです。

当第3四半期連結会計期間における純資産は、前連結会計年度末に比べて5億34百万円増加し、510億63百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて0.7ポイント低下し、37.3%となりました。

## (2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しておりませんので、記載を省略しております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績等の動向を踏まえ、平成30年2月13日に公表した通期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(平成30年11月5日公表)の「平成30年12月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、本業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、様々な要因の変化により実際の業績とは大きく異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,453	9,995
受取手形及び売掛金	20,661	25,088
商品及び製品	17,466	20,200
仕掛品	985	800
原材料及び貯蔵品	4,177	3,673
繰延税金資産	965	1,589
その他	2,447	2,439
貸倒引当金	△34	△41
流動資産合計	57,123	63,746
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,060	28,285
減価償却累計額及び減損損失累計額	△13,019	△13,636
建物及び構築物(純額)	15,041	14,649
機械装置及び運搬具	13,779	13,978
減価償却累計額	△9,137	△9,519
機械装置及び運搬具(純額)	4,641	4,458
土地	7,924	7,930
リース資産	520	354
減価償却累計額	△349	△253
リース資産(純額)	170	100
建設仮勘定	182	223
その他	8,112	8,436
減価償却累計額	△6,428	△6,798
その他(純額)	1,683	1,638
有形固定資産合計	29,643	29,001
無形固定資産		
のれん	14,985	12,980
その他	4,270	4,110
無形固定資産合計	19,256	17,091
投資その他の資産		
投資有価証券	7,639	7,055
退職給付に係る資産	3,510	3,666
繰延税金資産	84	177
その他	924	935
貸倒引当金	△13	△11
投資その他の資産合計	12,144	11,823
固定資産合計	61,044	57,916
資産合計	118,167	121,662

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,960	30,845
短期借入金	7,859	7,188
1年内返済予定の長期借入金	4,041	3,864
未払金	7,178	7,543
未払法人税等	1,543	2,360
未払消費税等	663	817
賞与引当金	194	1,256
返品調整引当金	555	2,327
その他	3,028	2,643
流動負債合計	53,024	58,847
固定負債		
長期借入金	10,354	7,832
繰延税金負債	2,413	2,336
退職給付に係る負債	571	448
資産除去債務	433	435
その他	841	698
固定負債合計	14,614	11,751
負債合計	67,638	70,599
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,377	3,432
資本剰余金	2,923	2,978
利益剰余金	35,449	36,249
自己株式	△14	△15
株主資本合計	41,736	42,646
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,377	2,097
為替換算調整勘定	357	81
退職給付に係る調整累計額	469	513
その他の包括利益累計額合計	3,204	2,692
非支配株主持分	5,588	5,724
純資産合計	50,529	51,063
負債純資産合計	118,167	121,662



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	145,984	145,608
売上原価	88,621	89,077
売上総利益	57,363	56,531
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	4,232	4,417
広告宣伝費	7,849	8,790
販売促進費	9,678	10,643
貸倒引当金繰入額	50	5
給料及び手当	9,493	10,310
賞与引当金繰入額	921	944
役員退職慰労引当金繰入額	13	—
旅費及び交通費	1,314	1,343
減価償却費	655	826
のれん償却額	1,647	1,937
地代家賃	810	833
研究開発費	1,960	2,127
その他	8,116	8,399
販売費及び一般管理費合計	46,743	50,579
営業利益	10,619	5,951
営業外収益		
受取利息	13	20
受取配当金	56	61
為替差益	65	—
受取ロイヤリティー	12	2
受取手数料	29	29
受取家賃	81	87
その他	216	253
営業外収益合計	476	455
営業外費用		
支払利息	66	90
為替差損	—	54
その他	42	10
営業外費用合計	109	156
経常利益	10,986	6,250

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
特別利益		
固定資産売却益	4	11
投資有価証券売却益	—	0
関係会社清算益	90	—
特別利益合計	95	12
特別損失		
固定資産売却損	5	0
固定資産除却損	53	32
関係会社株式評価損	—	250
ゴルフ会員権評価損	—	1
特別損失合計	59	284
税金等調整前四半期純利益	11,023	5,977
法人税、住民税及び事業税	4,497	3,155
法人税等調整額	△608	△684
法人税等合計	3,889	2,471
四半期純利益	7,133	3,505
非支配株主に帰属する四半期純利益	471	383
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,662	3,122

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	7,133	3,505
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	538	△273
為替換算調整勘定	△171	△275
退職給付に係る調整額	116	49
その他の包括利益合計	483	△500
四半期包括利益	7,617	3,005
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,127	2,611
非支配株主に係る四半期包括利益	490	394

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。